

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本学術振興会	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約金額	9,077,832円	
仕様書配布者数	2者(26年度:4者)	
契約の件名及び数量	自動車借り上げ及び運行管理業務	
契約締結日	平成28年3月25日	
契約の相手方の商号又は名称等	国際ハイヤー株式会社	
入札経緯及び結果	平成28年2月17日 入札公告 平成28年2月19日 入札説明会 平成28年3月8日 提案書提出期限 平成28年3月17日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	2年間の複数年契約とした。
②業務等準備期間の十分な確保	○	入札を早期に実施することによって応札業者にとって準備期間を可能な限り確保した。(平成27年度:15日、平成26年度:10日)
③公告期間の見直し	○	公告日から提案書受領期限まで20日以上を確保した。
④公告周知方法の改善	○	入札公告を本会HPに掲載するとともに、文部科学省のHP上にリンクを設置している。
⑤電子入札システムの導入	×	-
⑥業者等からの聴き取り	○	契約開始前に運転手の確保が困難だったため。
⑦競争参加資格の拡大	×	-
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>道路運送法に基づくハイヤー事業者との契約であり他社を排除する特別な理由が無いことから、引き続き、最低価格落札方式による一般競争入札を行う。今回、複数年契約を回り、調達規模の拡大を図ったものの、業者側の都合により開始前に運転手の確保が困難だったことから、今回は、プレ公告や複数者への情報提供依頼(RFI)等を活用し、二者以上の応募・応札を図る。</p>		
契約監視委員会のコメント		
<p>仕様を複数年契約としたこと、公告期間を20日以上確保する等、工夫・改善を図っていると認められる。次回の調達に際しては、プレ公告や複数者への情報提供依頼(RFI)等を活用し、業者への声かけを大いにやってもらいたい。また、入札しなかったハイヤー業者に入札不参加の理由を照会し、より多くの業者が参加できるよう検討をしていただきたい。</p>		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
<p>プレ公告等を活用し、業者に広く周知し、また、入札しなかったハイヤー業者に入札不参加の理由を照会し、より多くの業者が参加できるよう検討する。</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
京藤 倫久、小島 昇、清水 幹裕、西川 恵子、溝口 周二(五十音順)		

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本学術振興会	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約金額	12,830,400円	
仕様書配布者数	3者(26年度1者)	
契約の件名及び数量	科学研究費助成事業審査会に係るペーパーレス化システム設計構築運用支援業務	
契約締結日	平成27年12月11日	
契約の相手方の商号又は名称等	富士ゼロックスシステムサービス株式会社	
入札経緯及び結果	平成27年10月29日 入札公告 平成27年11月4日 入札説明会 平成27年11月18日 提案書提出期限 平成27年12月3日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	
②業務等準備期間の十分な確保	○	入札を早期に実施することによって応札業者にとって準備期間を可能な限り確保した。(平成27年度:70日、平成26年度:60日)
③公告期間の見直し	○	公告日から提案書受領期限まで20日以上を確保した。
④公告周知方法の改善	○	入札公告を本会HPに掲載するとともに、文部科学省のHP上にリンクを設置している。
⑤電子入札システムの導入	×	-
⑥業者等からの聴き取り	×	-
⑦競争参加資格の拡大	×	-
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
本契約は、平成26年度新規に構築した科学研究費助成事業審査会に係るペーパーレス化システムの機能追加を行ったもので、当初構築した者が価格面で有利となっていることが確認された。現段階においては、新たな機能追加の予定はないが、機能追加が予定されている場合には、一般競争入札を活用することとするが、併せて、プレ公告や複数者への情報提供依頼(RFI)等により透明性をはかるとともに、他社からの提案内容の活用を図ることとする。		
契約監視委員会のコメント		
<p>次回の調達に際しては、プレ公告や複数者への情報提供依頼(RFI)等を活用し、事前に業者へ声かけをするようにしていただきたい。</p> <p>(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)</p> <p>プレ公告等を活用し、業者に広く周知することにより、より多くの業者が参入できるよう検討する。</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
京藤 倫久、小島 昇、清水 幹裕、西川 恵子、溝口 周二(五十音順)		